

ビオトープだより第57号

会員・BA より ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 岩手・三陸からの報告 「大槌町郷土財活用湧水エリアビオトープ」 ミズアオイ見学会 会員 臼澤良一（三陸自然学校大槌 代表）

毎年、春先にはミズアオイ保護に必須の生育池の攪乱作業を、住民、町部局、環境保護グループ、地元高校生、NPO 団体、大学など多様な人たちが集まり実施して、その後の生育状況を確認し、開花時期に合わせて毎年見学会を開催しております。

見学会では今年も岩手県立大学総合政策学部教授の島田直明先生から、大槌のミズアオイの生態についてご説明をいただきました。

見学会後には、改めて島田先生によるミズアオイに関する講演会を開催して、有意義なお話をお聞きし、その後2年振りにミズアオイの試食会を行いました。参加者は、震災の津波で奇跡的に蘇ったミズアオイを思い、万葉集の時代には通常食されていたというミズアオイを心ゆくまで味わっておりました。

1. 開催日 2024 年 8 月 24 日（日）10:00～12:00

2. 参加者 25 名

3. 見学会写真



岩手県立大学島田先生から、郷土財湧水エリアのミズアオイについてご説明をいただきました。

参加者はミズアオイの花の構造などを身近に観察し、興味を深めた様子でした。



4. 講演会写真

岩手県立大学島田先生から、ミズアオイの生活史、大槌のミズアオイの特徴、DNAなどについてお話をいただきました。



5. 試食会写真

大槌町八幡商店の女将さんによる、試食の天ぷら（左）とおにぎり（右）。
「美味しい」との評価で、みなさん試食を楽しみました。



6. まとめ

- ① 今年は異常気象によるものか、例年よりも開花時期が遅くなり開催が心配されましたが、当日は見事に咲き、見学者もミズアオイの花を見て感動しておりました。
- ② 例年観察していた池はシカの食害により壊滅状態でした。一方隣の池のミズアオイは無事で見学会に供されました。来年に向けて全域シカ害対策の必要性を感じております。
- ③ 島田先生から「大槌のミズアオイは震災大津波で偶然再生してきた貴重な植物」とのお話があり、その記憶を次世代に伝えることと共に、保護活動の重要性について気持ちを新たにしました。

以上